

芝地区公式SNSフォローしてね!

芝地区地域情報誌

VOL. 63

2022年11月発行

発行部数 31,000部

発行

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1-5-25 (港区役所2階)

TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

ボランティアの
編集委員が
つくっています

しばタグ

SHIBA-TAG

鉄道開業150年

汐留に残る名所旧跡 旧新橋停車場



旧新橋停車場駅舎の100分の1模型

新橋－横浜間に日本初の鉄道が開業したのは明治5年(1872)。今年で鉄道開業から150年を迎えます。開業記念式典は大変華やかなものだったことが、錦絵などの資料に残っています。開業当時の駅舎跡は国の史跡に指定され、現在も汐留地区に保存されています。

「旧新橋停車場 鉄道歴史展示室」の管理運営をしている公益財団法人東日本鉄道文化財団の学芸員の方にお話を伺いました。



公益財団法人東日本鉄道文化財団の学芸員さん

鉄道の始まりは
汐留のビル街の中

汐留といえば、超高層オフィスビルが立ち並び、地下通路や広場でつながる近代的な街並みを思い浮かべるでしょう。旧新橋停車場はその超高層オフィスビル群の谷間にあります。石造り2階建ての外観は、時代をタイムスリップしたかと錯覚してしまいそうです。

「あれ? 鉄道の始まりはSL広場じゃないの?」と思う人もいるかもしれませんが。いえいえ、日本の鉄道開業の地である新橋駅は汐留にあったのです。



再現された駅舎正面外観



細部にまでこだわったデザイン

しばタグ 目次 VOL.63

- | | | | |
|-----------------------------|----|-----------------|----|
| ●旧新橋停車場 | P1 | ●[いきいきプラザ]館まつり | P6 |
| ●[とらこ]石田琵琶店 | P3 | ●町会・自治会TOPICS | P7 |
| ●[芝の老舗]虎ノ門 大坂屋砂場 | P4 | ●[芝の家・ちゃぶ台日誌]秋編 | P8 |
| ●[キッズみらいルポ]遊び場開放事業 | P5 | ●港都税事務所からのお知らせ | P8 |
| ●[ご近所ラボ新橋]CocoRo♡Cafe「音楽の日」 | P5 | | |



バックナンバーを
Webにて公開中

芝情報誌

検索





開業当時の線路やプラットフォームを復元

1990年代に汐留地区再開発が始まり、それと並行して埋蔵文化財の発掘調査も行われました。そして江戸時代の大名屋敷跡のほか、旧新橋停車場の遺構も良好な状態で発掘されました。開業当時の駅舎は、関東大震災により焼失していますが、建物の鮮明な写真なども残っていたため、発掘された遺構の上に当時の姿が可能な限り正確に再現され、平成15年(2003)4月に「旧新橋停車場」として開館しました。

館内の鉄道歴史展示室では新橋停車場に関する貴重な資料が公開されています。展示資料の中には、当時の乗車券(複写)や、駅弁と一緒に売られていた陶器やガラス製のお茶の容器などもあり、当時の新橋駅のにぎわいが思い浮かびます。また、発掘された遺構の一部は見学窓を



東京汐留鉄道御開業礼図 明治5年(1872) 中村俊一朗所蔵

JR新橋駅前のSLはどこからきたの?

テレビの街頭インタビューでおなじみのJR新橋駅日比谷口にある西口広場。本物の蒸気機関車-SLが置かれていることから「SL広場」と呼ばれ親しまれています。なぜあそこにSLが置かれているのか知っていますか?

SLはC11形蒸気機関車で、もともと姫路機関区に所属し中国地方を走行していましたが、鉄道開業100年にあたる昭和47年(1972)に旧国鉄から港区に無期限で無償貸与されました。毎日正午・午後3時・午後6時に汽笛を鳴らし、クリスマスシーズンになるとイルミネーションに彩られ、道行く人の目を楽しませてくれます。



2階は、企画展示スペースとなっています。写真は、今年7月20日から11月6日まで開催された第58回企画展「鉄道開業150年記念 新橋停車場、開業」の様子



常設展示室内の様子



展示資料のお茶の容器

などの公爵家も乗車し、新橋-横浜間を往復しました。

鉄道開業によりこれまで数日かかっていたところ、短時間で人や物を運ぶことが可能となり、日本の産業は発展して、鉄道は日本近代化に大きく貢献しました。日本の近代化の原点にぜひ足を運んでみてください。



開業当時の駅舎基礎石の遺構を見ることができる見学窓



汐留ヨリ横浜迄鉄道開業御乗初諸人拝礼之図 明治5年(1872) 鉄道博物館所蔵

取材・文：菊池 弓可

INFORMATION

旧新橋停車場 鉄道歴史展示室 東新橋1-5-3 TEL 03-3572-1872
開館時間 10:00~17:00 入場料 無料
休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は開館、翌火曜日が休館)
年末年始(12/29~1/3)、展示替え期間中
<https://www.ejrcf.or.jp/shinbashi/>

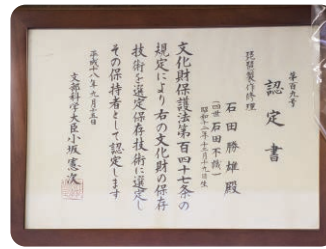


悠久の音色を今に伝える「石田琵琶店」

人間国宝・港区名誉区民として

「石田琵琶店」四世・石田不識さんは琵琶専門店を守り続け、平成18年(2006)に日本で唯一の琵琶製作修理の選定保存技術保持者(人間国宝)に認定されるという栄誉に輝きました。

港区は、社会文化の興隆に功績のあった方に対してその業績を称え、区民の敬愛の対象として、これまで4名を名誉区民として顕彰しています。その中のおひとりが四世・石田不識さんで、平成28年(2016)、港区名誉区民に選ばれました。港区役所正面ロビーにある顕彰を称えるお写真をご覧になった方も多いのではないのでしょうか。



人間国宝認定書

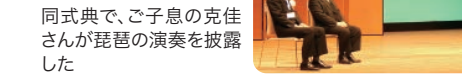
琵琶職人になったいきさつ

虎ノ門在住で、琵琶職人の四世・石田不識さんの半生を紐解いてみましょう。

四世・石田不識(本名:石田勝雄)さんは、昭和12年(1937)、青森県に生まれました。宮大工をしていましたが、縁あって先代石田不識に見込まれ、五女・嘉子さんと結婚。琵琶職人の道に進むことになりました。ところが先代が急逝したため、技術を教わらないまま琵琶店を任されました。「大工だから形は作れるが、演者にあった音がなかなか出せなくてね」と、納得がいく良い



区政70周年記念式典で武井区長から港区名誉区民の顕彰を受けた



同式典で、ご子息の克佳さんが琵琶の演奏を披露した

音を出せるまでは、筆舌につくしがたいご苦労があったようです。

嘉子さんとお見合いの席で、先代から「虎ノ門でビワを作っている」と聞かされ、ご本人は「果物の枇杷」のことかと思い、「虎ノ門にそんな広い畑があるのか」と勘違いしたという楽しいエピソードもお話くださいました。

石田琵琶店の歴史

創業は明治11年(1878)。初代が西南戦争に従軍した際に、薩摩(鹿児島)で聴いた薩摩琵琶の音色に感銘を受けたのが始まりです。神田 錦町で開業し、昭和6年(1931)、虎ノ門に移転しました。

琵琶の腹板は桑の木を使います。桑材の最高峰とされる御蔵桑を10年間自然乾燥させるために、平成8年(1996)に、埼玉県坂戸市に木材倉庫兼作業場を開設しました。

ご子息(石田克佳さん)は坂戸市の工房で琵琶の製作修理を行い、同時に演奏家としても活躍しています。平成28年(2016)の区政70周年記念式典では、美しい音色と歌声をご披露してくださいました。古来より人々を魅了してきた琵琶は、虎ノ門で守られています。

ひとロメモ

琵琶の歴史は古く、四弦の琵琶はベルジャに、五弦の琵琶はインドにそのルーツがあると言われている。わが国に伝わったのは奈良時代。奈良の正倉院には天平勝宝8年(756)、聖武天皇の七十七回忌に御遺愛の品として納められた中に五弦や四弦の琵琶がある。琵琶は後に、さまざまな流派に分かれた。楽琵琶、盲僧琵琶、平家琵琶、薩摩琵琶、筑前琵琶などがある。

四世・石田不識さんと奥さまの嘉子さん



レプリカといえど、ディテールは息をのむほど美しい

正倉院の琵琶のレプリカ

正倉院に現存する琵琶のレプリカ。文献調査を繰り返して、製作に10年を費やした。庵甲(べっこう)、白蝶貝(しろちょうがい)、紅琥珀(べにこはく)などで、美しい模様が表、裏、側面に施されている



表

裏



取材を受けながらも、琵琶の調整に余念がありません



琵琶を奏でる石田さん。繊細な音が作業場に響き渡る



お店は虎ノ門三丁目交差点から愛宕下通りへ10m、虎ノ門ヒルズの向かいにあります

INFORMATION

石田琵琶店 虎ノ門3-8-4 TEL 03-3431-6548
営業日 月~土(日・祝休み)
営業時間 9:00~17:00
<https://www.ishidabiwaten.com>



芝の老舗

登録有形文化財の歴史的建造物

「虎ノ門 大坂屋砂場」

虎ノ門ヒルズビジネスタワーと、交差点を挟んだ並びにある「虎ノ門 大坂屋砂場」は、明治5年(1872)に創業した老舗蕎麦屋です。ビルの立ち並ぶオフィス街に、大正時代の風情を漂わせる店舗は、ひと際目立ちます。

6代目の店主、稲垣隆俊さんを訪ねたのは平日の昼過ぎ。ラストオーダーまで多くのお客さまが、蕎麦を味わっていました。



店内は趣のあるしつらえ

見ごたえのある木造2階建

角地に合わせた建物の隅を斜めにとり、店の入口にしています。屋根は二つの傾斜面が切妻造。丸瓦と平瓦が一体になった棧瓦葺で、隅には千鳥破風を飾っています。外壁は板の上下がお互いに少しずつ重なり合うよう、横方向に張った下見板張。天井から50cmくらいまでの小壁は漆喰で仕上げられています。入口に商号の「砂場」の扁額が掛けられ、2階の開口部の欄干が特徴的です。

建物は、大正12年(1923)、関東大震災の直前に建てられたものですが、大地震にもびくともしず、都心の多くが焦土と化した東京大空襲でも奇跡的に焼けずに残りました。平成23年(2011)7月、国土の歴史的景観に寄与するとして、国の登録有形文化財に指定されました。令和2年(2020)には、「愛宕下通り」の拡幅工事に伴い建物全体をそのまま持ち上げて移動する「曳家」の方法を用いて、1年をかけて建物を4メートル移動。合わせて老朽箇所の耐震補強工事を行いました。



国の登録有形文化財に指定されています



高層ビルが建ち並ぶ中にどっしりとたたずむ姿は、まさに老舗の風格

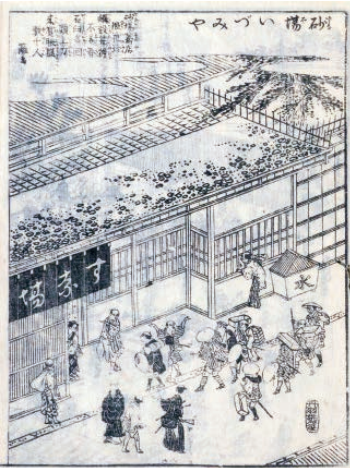
大坂屋砂場の由来

屋号の「砂場」の起源は、16世紀の豊臣秀吉の時代までさかのぼります。大坂城築城の時、資材の砂置き場だった場所が築城後に整備され、一帯の地名が「砂場」になります。そこに開店した蕎麦屋が「砂場」の由来です。

その後、徳川家が天下統一を成し、家康とともに江戸入りして「大坂屋砂場」を開業。江戸時代は単身赴任者が多く、蕎麦屋は人々の憩いの場として、また隠密などの情報交換の場の役割を果たしていました。

創業からの歩み

初代の女将ヨソは、三河国の武家で徳川家とも縁の深かった水野家の家臣、荻谷家に生まれました。父は鍋島藩の剣術指南役でしたが、ある御前試合の遺恨で命を落とします。残されたヨソは、靴町七丁目砂場の養女として預けられます。そこで出会った稲垣音次郎と結婚し、徳川家譜代の阿部氏から譲られた、現在の地所に蕎麦屋を創業します。幕末の頃から明治にかけて、剣術家の山岡鉄舟や勝海舟らが足しげく通い、彼らが残していった書は稲垣家の家宝です。



寛政10年(1798)に描かれた『摂津名所図会』では当時の店の様子をうかがい知ることができます
出典：国立国会図書館 デジタルコレクション

代々伝えられる家憲

2代目の音次郎が記した稲垣家の家憲には、明治35年(1902)1月の日付があります。

- 一、人に貸すことなかれ。
- 一、人に借りることなかれ。
- 一、唯一心に勤め励めて家門を思ふべし。

貸し借りをすることなく、伝統を重んじ、真摯に仕事に臨む姿勢が「虎ノ門 大坂屋砂場」の原点です。

代々の店主が、それぞれに家憲の意味を捉えながら、先代から暖簾をあずかり、次に渡す事を目標として日々励んできました。

4代目の一男は、「和を以って貴しと為す(聖徳太子の制定と伝えられる十七条憲法から)」を教訓とし、砂場の歴史を守っていく「砂場会」を結成しました。



5代目の隆一さんも「砂場会」の会長を務め、「老舗の極意は『継続は力なり』。皆さんのおかげ。ちゃんとしたものを出すのが大切」と謙虚で誠実を貫きました。

そして6代目を継いだ隆俊さんのモットーは、「お客さまにご満足いただき、喜んでいただけることを大切に、丁寧に料理を作ること。」「暖簾が当主をつくる」と言うように、時勢が刻々と変わる日々の商いの中で、当代として何を変え、何を守り、何を次に伝えるのか、自然と見極められるようになります。お客さまに喜んでもらう、感謝の気持ちを大切に、店の雰囲気や品格を守る、そして重要なのが信用です。信用されるから信用に足るように行動します。それがさらに信用につながっていきます」と語ります。

蕎麦は甘味と香りが特徴の、北海道産蕎麦粉を使用。蕎麦粉10に対して、小麦粉2を加える「外二」です。蕎麦汁は砂場らしさを保ちつつ、6代目好みのたまり醤油が決め手。季節折々の変わり蕎麦、定番の玉子焼き、焼き鳥など酒の肴も豊富で、お酒は10数種類取り揃えています。天然の海老を揚げた天ぷら蕎麦や天井はリピーターが多いそうです。

次の世代に

隆俊さんは中学受験を終える頃、祖父から店のことを聞かれ、大学を終えてから継ぐことを宣言しました。「次の7代目へと継承していくには、娘たちに自分の生き方をみせるしかない」と将来を見据えています。

西新橋で生まれ育った隆俊さんは、時代の変革と街並みが、開発でどんどん変わっていくのを見てきました。新たな再開発の波がきている虎ノ門地区、西新橋地区にあって、街の歴史ある景観として「大坂屋砂場」の建物を守り続け、日本人の文化を大切にしている隆俊さん。確固たる信念と誠実なお人柄を感じました。

取材：森 明/早川 由紀
文：早川 由紀



6代目の隆俊さん

INFORMATION

虎ノ門 大坂屋砂場 虎ノ門1-10-6
TEL 03-3501-9661
<https://www.toranomon-sunaba.com>



あしたを夢見る

キッズ みらい ルポ

校庭にあふれる笑顔

御成門小学校の「遊び場開放事業」

「遊び場開放事業」は、通い慣れた小学校の校庭や体育館を月に1〜2回開放する区の取組で、昭和46年度(1971)から始まりました。「遊び場開放事業」のことを知りたくて御成門小学校を訪問させていただくと、元気に走り回る子どもたちの笑顔に癒やされました。

年齢の近いお姉さんに、会話ははずみます

取材・文：竹内 哲子



安心、安全、明るい笑顔



この日は気温が高く、暑い日でしたが、子どもたちは元気いっぱい!

「遊び場開放事業」とは、子どもたちが安全に遊ぶことができるように、「遊び場開放指導員」を配置し、区立小学校の校庭や体育館を遊び場として開放する事業です。開放指導員の中には大学生のお兄さんやお姉さんもいて、子どもたちはさまざまな遊びを一緒に楽しんでいます*。

大学生のお兄さんは、子どもたちから出題されたパズルを完成するのに悪戦苦闘。「サーン、ニーイ、イチイー!!」と終了のカウントダウンに大焦り。校庭の真ん中では大迫力のバトミントン大会、女の子たちはお姉さんを囲んで女子トークに花が咲きまくり。開放指導員のお兄さん、お姉さんは、「子どもが好き!」「子どもたちと無邪気に遊ぶ時間を楽しみたい!」とざわやかに話してくれました。

お母さんたちからは「大きな公園だと他の子や小さい子が気になって」「待ち合わせの場所を勘違いすることもある」と悩みがあったようですが、ここなら大丈夫と安堵の笑顔。「遊び場開放事業」の日は、大きな東京タワーが眺望できる校庭を



そびえ立つ東京タワーを背景に、元気いっぱいに走り回ります

縦横無尽に走ったり、遊具にぶらさがっておしゃべりしたり。子どもたちはいつもとは違う自由でゆったりとした時間を、とても楽しく過ごしていました。

※毎回大学生の開放指導員がいるわけではありませんので、ご了承ください。



専用の遊具が用意され、自由に使うことができます



子どもたちはみんな、お兄さん、お姉さんのことが大好き。どこへ行くのも一緒です



INFORMATION

「遊び場開放事業」は、芝地区においては、御成門小学校のほか、芝小学校と赤羽小学校でも実施しています。実施日は学校ごとに異なります。実施予定日、注意事項などは、区のホームページをご確認ください。
<https://www.city.minato.tokyo.jp/sports/asobiba31.html>
お問い合わせ>生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係
TEL 03-3578-2747



まるで我が家のリビング

ご近所ラボ新橋

CocoRo♡Cafe「音楽の日」 ご近所同士が気持ちを合わせて演奏を楽しむひととき

毎月1回、土曜日の夜に軽快な演奏の音色が室内に響き渡ります。主催するのは山脇夕佳さん。「“音楽を通して心と心をつなぐ”をテーマに、多様で異なる人々がお互いの気持ちを共有して心豊かな時間を過ごせるコミュニティの場を作りたい」と始められました。

ギターやフルート、ヴァイオリンなど、知り合いの奏者を誘ってスタートしました。山脇さんは幼少時からピアノを習っていたこともあって、電子ピアノの担当です。8月最後の土曜日に集まったみなさんは、セッションを始めたら初対面でも息がピッタリ!! ジャズや映画音楽、ビートルズナンバー、ユーミ



この会を主催する山脇夕佳さん



フルートを吹く小川剛士さん



コントラバスを弾く小日山拓也さん



ピアノでリードする木島涼太さん



リズムで盛り上げる計良祐介さん



みんなでセッション。オーディエンスも聴くだけでなく、一緒に演奏に参加できます

ンなど誰もが知っている曲目を次々と演奏していきます。ベースを担当した小日山拓也さんは「こんなに真刺になれるとは、自分でもビックリです。かえって勉強になります」と、黙々と演奏されていました。またフルートの小川剛士さんは「みんなで演奏できるのが楽しいし、初めてのメンバーでのセッションが驚きであり魅力でもあり、フリーダムな雰囲気心地よいです」と心に響く音色を奏でます。

演奏経験がない人でも一緒に演奏を楽しめるように、タンバリンやカステネット、鈴やカリンパなどが用意されていて、「ご近所の新たなコミュニケーションづくり、多世代交流、地域交流につなげて、表現する楽しさを体験してほしい」と参加者を募集中です。



参加者に用意された楽器。みんな好きなものを手に取って、セッションに参加できます

持参した楽譜の数々。この中から、その場で曲を選び、演奏します。初めての曲もあるとか



INFORMATION

ご近所ラボ新橋
新橋6-4-2 きらきらプラザ新橋1階
TEL 03-6459-0789
MAIL lab@gokinjo-i.jp
<http://lab.gokinjo-i.jp>



取材・文：千葉 みな子



いきいきプラザの「館まつり」に行ってみた!

芝地区いきいきプラザ(三田・神明・虎ノ門)では、各館で毎年1回、「館まつり」を行っています。新型コロナウイルスで開催ができなかった時期もありましたが、昨年より感染症対策を取り、安全に参加いただけるようにスタッフ一同の工夫が感じられました。

今回は9月3日(土)に行われた、虎ノ門いきいきプラザの「館まつり」の様子をレポートします。

取材・文:米原 剛

とらトピア秋祭り

今年のテーマは「学校」。
日頃の講師のお力添えにより、社会・音楽・書写・英語の各科目に合わせて、講座や体験ができる内容でした。



●社会



●音楽



●書写



●英語

1階のマーブルカフェで、給食風メニューの提供もしていました! 主菜が選べるセレクト給食になっていて、どちらにしようか迷ってしまいました。



●マット運動



●いきいき体操



●ボッチャ



●ビーズで
プレスレットづくり

腹ごしらえが済んだら2階へ上がり、敬老室でのi-Pad体験や、カラフル洗剤・ポストカード・ビーズのプレスレットづくりに参加。また、トレーニングルームで行われたさまざまな運動にも挑戦しました。



●カラフル洗剤・
ポストカードづくり



最後はマーブルカフェでおやつタイムも楽しみ、「館まつり」を満喫できました。



●i-Pad体験

Information

芝地区のいきいきプラザ3館では新型コロナ感染症の状況に応じて、利用やサービスも変わります。詳細は各館にお問い合わせください。

<https://shiba-ikiiki.com>

- 三田いきいきプラザ
芝4-1-17 TEL 03-3452-9421
- 神明いきいきプラザ(プラザ神明)
浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500
- 虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)
虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941



三田まつり 10月15日(土)に、五感を楽しむ「実~みのり~」をテーマに催されました。

予告

プラザ神明フェスティバル 一めえ〜るし〜♪サンター

12月10日(土)
開催予定

リース作りやお面作り、ゲームコーナーなどの楽しいブースやダンス、歌、バンド演奏などのステージをご用意! クリスマスの楽しい思い出を神明で作りましょう♪

コロナ感染対策がしっかり取られていて、安心して楽しむことができました。年に1回の「館まつり」にぜひ参加してみましょう♪

●資料・写真提供:百葉の会ヘルスケアデザインネットワーク・東急コミュニティー共同事業体



町会・自治会ってなあに?

町会・自治会は、同じ地域に住んでいる皆さんが自主的に結成し、防災・防犯、環境美化、コミュニティなど、さまざまな活動を自主的にやっている団体です。

芝地区で活動している町会・自治会は全部で73団体あります。(令和4年9月現在) コロナ禍のため、ここ2年間は自粛・縮小傾向だった地域活動も、徐々に再開され、今年の夏は各地域でさまざまなイベントが行われました。その様子の一部を紹介します。

★ 盆踊り大会

虎ノ門地域

8月11日(木)・12日(金)の2日間、新しく建替えられた西久保八幡神社において、盆踊り大会を開催しました。虎ノ門三丁目広栄町会をはじめとした町会の主催で、3年ぶりに行われ、多くの皆さんが二重三重に輪を囲み、会場は大いに盛り上がりました。



★ ありがとうメルパルク東京感謝の集い

芝公園二丁目町会

8月27日(土)、芝公園二丁目町会では、長年地域で親しまれてきたホテルメルパルク東京の営業終了に伴い、「ありがとうメルパルク東京感謝の集い」を開催しました。参加者は感謝の意を表すとともに、ホテルの閉館を惜しみました。クライマックスでは、町会の皆さんが力強く神輿を担ぎ、地域の結束力や絆の強さをより一層深める集いとなりました。



★ 子ども祭り(地域交流会)

三田二丁目一交会

8月28日(日)、三田二丁目一交会では、三田二丁目児童遊園において子ども祭り(地域交流会)を開催しました。射的や人形すくい、じゃんけんゲーム、かき氷といった町会手作りの出店により、子どもたちのたくさんの笑顔が見られました。また、交流のある鳥取県北栄町の新鮮な野菜も出店されました。



町会・自治会への加入はこちらから

町会・自治会は、そこに住んでいる誰もが加入することができる地域コミュニティ組織です。町会・自治会に加入を希望する人は、右の2次元コードをスマートフォンで読み取り、住所・氏名・連絡先を入力の上、お申込みください。後日、該当する町会・自治会または区担当者から連絡します。



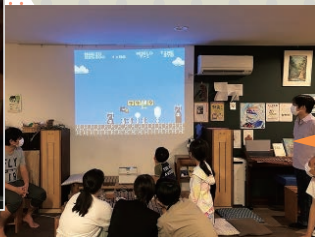
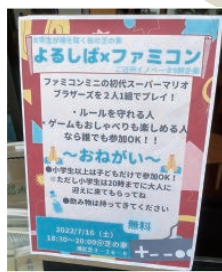
お問い合わせ

芝地区総合支所協働推進課協働推進係
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
TEL 03-3578-3123

芝の家・ちゃぶ台日誌 秋編



今年7月からスタートした新しい企画『からだヨリアイ』。月に1回18時から、鍼灸マッサージ師でもある芝の家スタッフのぶさんが、集まった方々と、ゆるやかに、体についてお話をしたり、軽く体を動かしたりしています。みんな、帰るころには、体の悩みや疲れも取れて笑顔が広がりました。



大学生が主体となって実施するイベント『よるしば』にて、『大画面ファミコン』を実施しました。くじ引きで2人1組のペアを作ってスーパーマリオブラザーズをプレイ! どのペアも盛り上がり楽しかったです。



8月10日(水)、『夏休みわくわくday』として、『よるしば』主催の1日企画を開催。昼間に行った『ひるしば』では、短歌大会、辞引きしてあそぼう、マンガの会の3つで楽しみました。短歌大会と辞引きしてあそぼうでは芝の家と参加者をオンラインでつなぎ、たくさんの方に参加していただきました!

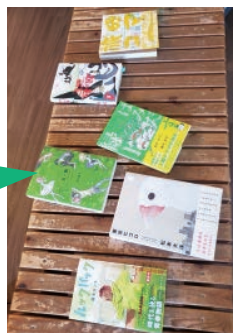
短歌大会では、上の句をいくつか用意し、下の句をみんなで出し合いました。ある男子の考えるスピードと自由な発想にみんなびっくり。普段なかなか短歌を作る機会はないので楽しかったです。



マンガの会では、それぞれ持ち寄ったマンガの魅力を紹介しました。その後は気になったマンガを手にとったり、タイトルをメモしたり、いつもと違う人との交流やカードゲームなど、企画以外にも盛りだくさんの『ひるしば』となりました。



辞引きしてあそぼうでは、みんなで、調べてみたい言葉をいろいろな辞書を使って調べました。辞書によって意味が少しずつ違っておもしろい!!



カナダに留学して10年目の大学生の女の子が、カナダから芝の家を見つけてくれ、夏休みに日本に戻って、芝の家のスタッフとして活躍してくれました。昔からいたのではないかなと思うほど溶け込んでいて、みんなで楽しい日々を過ごしました。

最後の日は、彼女が企画したイベント「カナダすごろく」を開催。すごろくは全部手作り! 手描きのカナダの地図の上に、カナダのクイズが盛り込まれています。読み上げる札もすべてに気持ちがこもり、とても丁寧に絵が描かれていました。ゲームのコマはペットボトルのふたを利用! アイデアが楽しいですね。子どもから大人まで大盛り上がり! みんなで楽しい時間を過ごすことができました。また遊びにきてくれる日を楽しみにしています。

文: 芝の家・芝地区総合支所協働推進課

INFORMATION

芝の家 芝3-26-8 TEL 03-3453-0474
 〈開室日時〉火～金 11:00～16:00 / 土* 12:00～17:00 〈休館日〉日・月・祝
<http://www.shibanoie.net>
 開室時間に変更が生じる場合もあります。最新の情報はホームページや掲示板をご覧ください。

芝の家は、芝地区の地域事業「地域をつなぐ! 交流の場づくりプロジェクト」の拠点。港区芝地区総合支所と慶應義塾大学の協働で始まり、事務局スタッフとボランティアスタッフが日々の場を運営しています。姉妹拠点「ご近所ラボ新橋」(港区新橋6-4-2)と合わせてお気軽にお立ち寄りください。

芝地区MAP

1～20
旧町名由来の設置場所



- 1 旧新橋停車場 → P1, P2
- 2 石田琵琶店 → P3
- 3 虎ノ門 大坂屋砂場 → P4
- 4 御成門小学校 → P5
- 5 芝小学校 → P5
- 6 赤羽小学校 → P5
- 7 ご近所ラボ新橋 → P5
- 8 神明いきいきプラザ → P6
- 9 三田いきいきプラザ → P6
- 10 虎ノ門いきいきプラザ → P6
- 11 芝の家 → P7

芝の家&ご近所ラボ新橋オンライン見学会

12月17日(土) 19:00～20:30

申し込み、詳細はホームページや拠点にお電話をください。

港都税事務所からのお知らせ

来所せずにお手続きができます

主税局では、納税者の皆さまが都税事務所等に来所することなく郵送やインターネットなどでお手続きできる仕組みを設けております。郵送や電子による申告、申請・届出、キャッシュレスによる納税方法等をぜひご利用ください。

詳細は、主税局HPをご覧ください。

<https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/index.html>

主税局HP



芝地区地域情報誌の編集委員募集中!

芝地区地域情報誌「しばタグ」の誌面制作をお手伝いしていただける**編集委員を募集**しています。経験は問いません。ぜひご参加ください!!

〈お問い合わせ〉芝地区総合支所 協働推進課

TEL 03-3578-3192 MAIL minato75@city.minato.tokyo.jp



●編集委員……伊藤早苗／菊池弓可／桑原庸嘉子／竹内哲子／千葉みな子／土岐恵子／早川由紀／森明／米原剛／M.T.(五十音順 敬称略)
 ●配布場所……芝地区総合支所内の地域(芝、海岸一丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田一～三丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕)の方にお届けしているほか、地区内各施設などで配布しています。

港区芝地区総合支所協働推進課

〒105-8511 港区芝公園1-5-25(港区役所2階)

TEL 03-3578-3192 FAX 03-3578-3180

<https://www.city.minato.tokyo.jp>



区ホームページ

買い物
するなら
地元の
商店街で

Going shopping?
Visit our
shopping
streets.

区役所のサービスや施設・催しの案内

みなとコール

TEL 03-5472-3710

(年中無休 8:00～20:00)